

令和7年度の学校目標等について

八戸市立白銀南中学校
校長 安田 俊彦

1 学校目標

「見通しを立て、主体的に行動できる生徒の育成」

キーワード

「 凡事徹底 、 恕の精神 、 笑顔 、 お互い様・おかげ様 」



2 学校目標設定の主たる理由

本校生徒は、全体的に明るく素直で、何事にも真面目に取り組む姿が見られる反面、相手との関わりの中で上手く関係を作れない生徒、自主的に行動することが苦手な生徒が多い。

義務教育最後の中学校3年間で、社会人になるための準備をさせるために、生徒の主体性を尊重し、見通しをもたせてやらせてみる・挑戦させる（やってもみないで「無理・できない」と言わない）指導を行い、失敗したとしてもそこから学ばせる指導を心がけたい。また、生徒自身が、自分の特性や長所を理解し、それを生かせる活動をさせながら、凡事徹底・恕の精神で、自他ともに尊重し合い、思いやりがあつていじめのない集団を育てたい。そのために、教職員は、笑顔と和を大切にし、協調と責任、「お互い様・おかげ様」の思いやりをもって学校経営に参画し、学校目標等の達成に向けて、率先垂範・凡事徹底を意識して指導していきたい。

※凡事徹底……当たり前のことを、継続して(妥協せず)に行う。極める。

※恕の精神……相手の身になって思い、行動すること。己の欲せざるところ人に施すことなかれ。

※お互い様・おかげ様……教師は、組織的な体制、教職員の年休・時休のとりやすい環境づくり。

生徒は、思いやり・協力等（他に貢献できる心）の育成等

生徒と共に一人一人が安心・安全に過ごせる環境づくりに努め、キャリア教育の視点に立った教育を推進したい。その根底には、コミュニティ・スクールと関連付けた「我ら何かし隊」を意図的に組織させて地域との連携・協働を図るとともに、地域や社会に貢献し、たくましく生きていける生徒の育成が不可欠である。

以上の理由から、今年度の学校目標及びキーワードを設定した。

3 学校目標具現化のための重点施策

(1) 生徒一人一人が主体的に学習に取り組み、「わかった！できた！身についた！」が実感できる学習指導の工夫

- ・新たな学習での既習事項、「見通し」につなげるための「振り返り」活動を工夫し、学習内容の理解の深化
- ・実効性のある家庭学習の推進
- ・特別支援教育の視点を取り入れた個に応じたきめ細かな指導の推進（ICT機器活用による視覚支援）
- ・共に学ぶ価値、意義の実感を促す学級・学年経営（間違っていない場所）

(2) キャリア教育の視点に立った教育の充実

- ・主体的な態度を育てる学級・学年経営の推進(自尊感情、居場所づくり、ほめる機会)
- ・自らの生き方の探求や主体的な進路選択につながる教育活動の充実
- ・生徒が自分の特性・強みと弱みを理解し、自分の強みを伸ばす指導の充実
- ・凡事徹底（あいさつ、歌、整理整頓等）で、社会人としての基礎づくり

(3) 相互の共通点と相違点を認め合い安心して過ごせる集団づくりの充実

- ・日常観察の深化及び自己存在感や有用感を高めるための手立ての工夫
- ・生徒の願いと主体性を大切にしたい、感動や連帯感を高める学校行事等の充実
- ・生徒理解と教育相談の充実（気軽に相談できる体制づくり、諸検査、生活改善アンケート、面談週間）⇒問題行動の早期発見・早期指導
- ・安全・安心で自分らしさを発揮できる教育環境の整備（耐震化）

(4) 地域・家庭及び学校間の連携の充実（コミュニティ・スクール）

- ・防災教育、安全教育の充実（危機回避能力の育成）とともに地域の一員としての自覚をもって、地域貢献に関わる意識の向上（地域と合同防災訓練、我ら何かし隊）

- ・積極的な情報発信（学校だよりの町内会回覧、ブログ発信等）
- ・教育の連続性を意識した教育実践（J Sの校長会開催、地域学校連携協議会の活用）
- ・家庭・地域との連携と地域の教育力を生かした活動の推進（外部指導者の活用、体験活動の充実）